

講師となった9人の現役大学生

子落とし塾の講師を務めた9人の現役大学生たち。塾長の二村さんは、約1カ月前から長島に滞在し、獅子島、高校生のためにと準備を進めてきました。

獅子島に集結した大学生の思いを紹介します。



塾長：二村 貴大さん
(早稲田大学法学部)



浜崎 隆史さん
(東京大学法学部)



福森 惇司さん
(大阪大学医学部)



高田 祐莉さん
(東京大学教育学部)



久保 舞珠さん
(九州大学文学部)



中野 瑞香さん
(九州大学大学院人文科)



荒木 理絵さん
(東京大学経済学部)



脇山 真衣さん
(九州大学大学院人文科)



伊串 涼平さん
(東京大学文科一類)

- ・自分の学んできたこと、大学で学んで感じていることを高校生に伝えることで、少しでも長島町に貢献できればいいと思い参加しました。
- ・子供が好きで、普段から教育系のボランティアをやっていましたが、普段接することのない地方の高校生と交流できるのが楽しみでした。高校生に何か一つでも気づきを持って帰ってもらえればと思いました。

- ・勉強の質問受けのみならず生徒たちと全力で向き合い、”来て良かったな”と思われる空間を作り出せたら一番良いと思っていました。
- ・私が高校時代にやっていた勉強法や、大学での活動を高校生に伝えることで、高校生の今後の生活の糧となるような時間にしたいと思って参加しました。

高校生に自分の経験談、将来に対する思いなどを伝えることで、高校生が将来を選択するお手伝いができればと思いました。

今どきの高校生はシャイな子が多くて最初は苦労するかと思いましたが、人懐っこい子がたくさんいて不安も吹き飛びました。今回色々な高校生と接しましたが、時々この子落とし塾のことを思い出して、そこで得たことを人生に生かしてほしいです。

自分が塾長をさせていただき、準備に長く携わっていたのもあり、高校生が「次またやってください！」と言ってくれたときは本当に報われた気持ちになりました。翌日は同じ家に泊まっている荒木、浜崎と思いを返して涙を流していました。

島の人たちや役場のかた、高校生、そして一緒に携わっていた大学生のみんなが同じ方向を向いて努力したからこそ、いいものが生まれたのだと思います。みんなに感謝です。

獅子島の子落とし塾を終えて

二村 貴大



獅子島の家庭が民泊として高校生たちを受け入れ

子落とし塾に参加した高校生19人は、4件の島民宅に民泊しました。

5人を受け入れた池田卓男さんは「地元としては、幣串小学校が閉校になって、子どもたちがいなくなりさびしかった。今日のようなイベントを続けられ



↑高校生を受け入れた池田安彦さん、池田卓男さん、中浦雅彦さん

たら、獅子島全体、幣串集落の活性化につながり、にぎわってくれる。廃校となった幣串小学校跡地も、このようなイベントが続けば、研修施設などになってとてもいいと思う。」喜んでいました。



↑民泊で夕食を食べる高校生たち

獅子島の子落とし塾に参加して

鶴翔高校2年 木村 昌幸

獅子島の子落とし塾から1週間がたちました。すばらしい自然、穏やかな地域の方々、個性あふれる大学生の方々との出会いで、将来への見方が変わり視野が広がった気がします。

漠然としていた臨床心理士という夢への思いが強まりました。日々の勉強では獅子島で学んだ効率的な勉強法を実践していきたいと思っています。

最後になりますが、自学塾を企画していただいた長島町の方々や受け入れてくださった獅子島の方々に心から感謝します。獅子島最高。

